

感謝の書 ウィーンへ

東日本大震災10年 支援続く街へ心込め

欧州の芸術の都を、日本の現代書道の世界が彩る。今年10月に創立80年を迎える書道団体「奎星会」(中原志軒会長)が来月6月、海外展「奎星会ウィーン展」日本の代表書家 ウィーンを書く」をウィーンの新王宮「ウェルト・ミュージアム・ウィーン」(国立世界博物館)で開催することが決まった。東日本大震災10年の節目の年に、今も被災地支援を続けるオーストリア国民への感謝を込め、61人の作家が新たな書作に挑む。

来夏、現地で「奎星会」展

オーストリアの首都ウィーン。モーツァルト、ベートーベン、ワグネルらが活躍した音楽の都として名高く、悠久なるドナウ川や歴史的建造物は世界じゅうの観光客を引きつける。その市街地中央、新王宮にある「ウェルト・ミュージアム・ウィーン」で初めて、日本の書道展が開催される。



中原志軒会長がウィーン展への思いをこめて揮毫した作品「望」

「芸術を愛するウィーンの皆さんに、私たちの書がどのようにとらえられるか。伝統的な『東洋の美』としてだけでなく、『現代の書』の発展をも担う書展を目指し、ウィーンの造形作家との交流の機会も持ちたい」。中原会長は大きな期待を寄せる。日本とオーストリアは1869年に修好通商航海条約を締結、以来50年を超え、深い友好関係が続く。

日本を代表する書道団体の一つ「奎星会」は現代書道の旗手として、前衛書を中心とした書表現をモーツァルト、ベートーベン、ワグネルらが活躍した音楽の都として名高く、悠久なるドナウ川や歴史的建造物は世界じゅうの観光客を引きつける。その市街地中央、新王宮にある「ウェルト・ミュージアム・ウィーン」で初めて、日本の書道展が開催される。

震災に際し支援を頂いた皆さまに感謝を込めて」というサブタイトルが付く。2011年3月11日、未曾有の大被害をもたらした東日本大震災。オーストリアは発生直後から日本への支援に動き出し、総額1億5000万円の義援金や毛布、水の容器などの支援物資を届けた。今でも国内では演奏会など数多くのチャリティイベントが開催されている。

中原志軒会長に「奎星会創立80年とウィーン展」への思いを聞いた。

進取の精神継ぎ

奎星会は創立当初から「現代に生きる私たちが、現代の書がなければならぬ」とを旨とし、新しい書を目指しています。徹底した古典の臨書に励み、そこから見た書道の造形原理をもとに、「前衛書の地平」を求めてきました。

草創期は戦中、戦後の過酷な時代でしたが、新しい芸術思潮のもと、書人たちは旧弊を排し、東洋、日本だけに閉じこもることなく、創作、造形、構成、構図、空間などの概念を大胆に取り入れ、実験的な作品を発表しています。

私は初代会長の土田桑鳩先生から9代目の会長にあたります。進取の精神を受け継ぎ、現代書の旗振り役として書道界の進展に尽くしたいと考えています。

困難の中、芸術にできることを 「奎星会」中原志軒会長

紙といった文具も見直し、エナメル、ラッカー、段ボールなど独自のマテリアル(材質、素材)がもたらす効果を取り入れ、新たな書美を追究しています。

音楽との交差

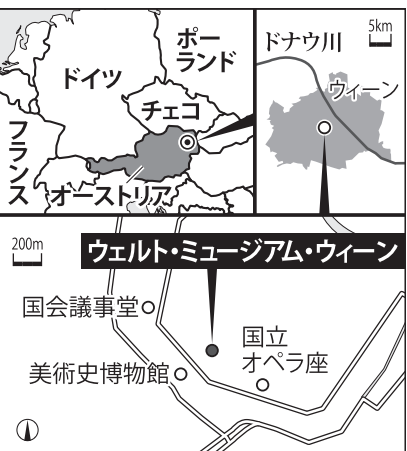
海外展は55年のニューヨークを皮切りにヨーロッパにも舞台を広げてきました。66年には外務省の委託を受け、桑鳩先生が1カ月間ヨーロッパを巡回し、書の講演やデモンストレーションを行い大反響を呼びました。

ウィーンは音楽の街というイメージが強いと思いますが、芸術全般に造詣の関心が高く、古い伝統に立ち向かったクリムトを代表とするオーストリア分離派の芸術運動は有名です。保守主義や伝統に抗した芸術家の姿勢は、前衛書を追求する私たちにとって学ぶところは大きいと思います。

哲学者の西田幾多郎氏は「書はその静的な形のリズム」という点においては建築に似ているが、建築のごとく実用にとらわれたものでなく、全く自由なる生命のリズムの発現である。そういう点においては音楽に似ている。つまり建築と音楽との中間に位置するとも考えられるべきであろうか。凝結せる音楽というべきであろうと、興味深いことを述べています。会期中には現



インタビューに答える中原志軒会長



新王宮「ウェルト・ミュージアム・ウィーン」(国立世界博物館)

ウィーン中心部の「王宮」に隣接する「新王宮」内の南西部に位置し、館内にはオーストリア歴史館やエフェス博物館なども併設されている。周辺には名画の宝庫といわれる美術史博物館や、自然史博物館、国会議事堂、市庁舎「ラートハウス」、国立オペラ座などの歴史的建造物があり、欧州の代表的な観光名所となっている。

「奎星会創立80周年記念ウィーン展」出品者61人 (敬称略)

副会長	最高顧問	名譽顧問	顧問	相談役	参事	理事	常任理事
中原志軒	相原雨雲	東原吐雲	吉田青雲	菅野清雲	中野清雲	越水春汀	田村合谷
藤田抱玉	赤也卿	岡本正志	同	特別同人	同	同	同
鎌田恵山	天野君郎	江草幽研	金竹秋苑	佐々木龍雲	丸尾謙使	森本鑑	石井抱旦
河野隆志	菅原美由紀	大東悠雪	田岡楚香	竹澤順子	竹村美園	谷野成子	戸津川政世
前田敦子	八木玉汀	神山和音	下村和音	谷川美仙	橋本安希子	本田英之	森岡美香
近藤はるか	中原一樹	中原章等	同	同	同	同	同

競書雑誌制作はおまかせ下さい！

手がかかる
手書き出品券

手がる
バーコード出品券

「人手が足りない」「段級管理が大変」「後継者で悩んでいる」etc.

編集担当者様、こんなお悩みをお持ちではありませんか？

私たちは《バーコード出品券システム》での編集経費削減や会員データ管理、印刷から支部への発送までをトータルサポート。

貴会のお悩み解決への提案をいたします。



全国約50誌の実績

リンクス
グループ

株式会社リンクス/小沢写真印刷株式会社
〒350-1112
埼玉県川越市上野田町 27-15
www.lincs.jp

相談無料!!
まずはお気軽にご連絡下さい
049-242-0016

東洋額装は書道を応援します！

1973年に広島県福山市で創業を開始して
これまで多くの先生方に育てていただきました。

東洋額装は これからも
「誠心誠意」「率先垂範」のこころで
書に携わるすべての方々に応援してまいります。

伝統美を
創造する。



東洋額装株式会社

御誂美術装
展覧会用貨額

本社 / 〒720-2410 広島県福山市加茂町八軒屋3番地

☎(084) 972-5577

東京支店 / 〒116-0012 東京都荒川区東尾久8-25-4

☎(03) 6807-6455

大阪支店 / 〒561-0857 大阪府豊中市服部寿町2-21-1

☎(06) 4866-8588



http://toyogaku.co.jp
東洋額装ホームページ

東洋額装公式 Instagram

